

平成28年度 21世紀土地改良区創造運動さなえ賞

都道府県名	広島県	水土里ネット名	水土里ネット ぬまくま 沼隈
水土里ネットの概要			
受益面積： 291 ha （水田 93 ha、畑 84 ha、樹園地 114 ha） 組合員数： 1,409 名 役職員数：役員 19 名、職員 1 名			
水土里ネットにおける運動の概要			
・運動への取り組みの経緯、きっかけ 水土里ネット沼隈では県営畑地帯総合整備事業【（担い手育成型）工期：平成元年～平成11年】により整備された42haの広大な樹園地で、農道や水路の整備に加え、近代化施設の導入により、労力の軽減化が図られ担い手への農地集積が進みました。しかしながら昨今は、地域内の農業者の高齢化、後継者不足による耕作放棄地の増大等、地域農業存続への対策が早急な課題となっています。これら諸問題への取り組みとして水土里ネット沼隈は平成27年度より、「次世代を担う子ども達に地域の特産品をもっと知ってもらおう！」をスローガンに、地域の保育園児、小学校児童にぶどう栽培やぶどう狩り、みかん狩り、田植えや稲刈りなどの様々な農業体験を通じて、子ども達が地域の農業や歴史に興味と誇りを持ち、農業の担い手として大きく発展し、次の世代を担ってくれることを願って活動しています。			
・運動の概要 沼隈地区は、瀬戸内海に面し温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、平野部には水田や畑、丘陵地には広大なぶどう畑が広がっています。水土里ネット沼隈の役職員や組合員が、この地域の特産品である「ぶどうの栽培」について、子ども達にもっと知ってもらうために、保育園や小学校と連携し、一年を通して栽培から収穫までを体験してもらっています。子どもたちには事前にぶどうの栽培について各自で調べてもらい、農家の人から話を聞いた後、水土里ネット組合員・役職員の指導により、5月にはジベレリン処理（種を抜く作業）、7月にぶどうを守る為の袋かけなどを実際に体験してもらい、秋の収穫を迎えます。一年に亘るぶどう栽培の体験を通じた交流から、子ども達はぶどうに愛着を感じ、ニューベリーAなど繊細な技術を必要とする、「沼隈のぶどう」に誇りを持っています。収穫後は染め物としてぶどうの皮を使い、エコバック作りに挑戦するなど、私たちの活動が環境保全など、色々な方面に発展しているのを感じています。当地区には、ぶどうの他みかんやおいしいお米など、特産品が多くありますので、今後も子ども達に様々な体験の場を提供していきたいと思っています。			
さなえ賞受賞理由			
平成27年以前までは、組織として改まった運動という型は取っていませんでしたが、学校と連携したぶどう栽培の体験学習には参加していました。事業により、安定した環境で一定の品質を保つ沼隈ぶどうの知名度が上がる一方、地域の高齢化や担い手不足による、地域農業存続への不安から問題解決に向け、水土里ネット自らが「沼隈のぶどう」をもっと次世代に伝え地域に残していこうと、共通の意志統一を図り、役職員、組合員が一丸となって体験学習に取り組んでおられます。また、再開発事業の着手から、10年に亘る工期の苦労、ぶどう産地として構築するまでの歴史は、水土里ネットだからこそ伝えていける役割と認識し、継続していく覚悟を持たれていることが伺え、今後もぶどうを中心に農業体験に取り組み、地域活性を図られることが期待されます。			

都道府県名	広島県	水土里ネット名	水土里ネット ^{ぬまくま} 沼隈
			
		県営畑地帯総合整備事業後のぶどう樹園地	選果場（直売所）
		5月 ジベレリン処理(種抜き)の指導	
		7月 袋がけ作業の指導	
			さあ、やるぞ〜！